

北九州市立菊陵中学校
学校だより
令和4年7月19日号
校長 上 赤 義 人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

夏休みを前に ～「しぬなよ」～

夏休みがまもなく始まります。三十数日にもなる自由な時間があります。この夏休みどうやって過ごしたらいいのでしょうか。

先日、ある小学校に行ったら、七夕飾りの短冊に「しなない」と書いていました。大変物騒な言葉だと思いました。と同時に校長先生が、担任をしていた時にクラスの生徒に言っていた言葉を思い出しました。それは「しぬなよ」です。そこで、その意味をよく理解し、胸に刻み込んでください。

「しぬなよ」の「し」。「死んではいけません」。近年、中学生がかかわる悲しいことが続いています。自らの命を絶つ、これは絶対にあってはならないことです。ひとは生きるために生まれてきました。死ぬために生まれてきたわけではありません。そして、毎年、夏になると心配なのが水の事故です。そして、季節にかかわらず多いのが交通事故です。特に、自転車による事故です。事故の被害者になるだけではなく、加害者になることもありえます、十分気を付けてください。

「しぬなよ」の「ぬ」。「盗んではいけません。」夏はどうしても開放的な雰囲気になりがちです。ダメなものはダメ、世の中には守らなければいけないことがたくさんあります。誘惑に負けず、清く正しい生活を絶対にしてください。

「しぬなよ」の「な」。「なまけてはいけません」長いようで終わってみると意外と短く感じてしまうものがこの夏休みです。長い休みは、一定の生活リズムに乗っていればよかった普段の学校生活と違って、自分で自分の生活を定めることができる貴重な期間でもあります。この夏休み、実はこの明暗を分けるのは、最初の一週間の生活です。早寝、早起き、朝ごはん、規則正しい毎日を送ってください。そして、自分のやるべき学習課題(宿題等)を決まった時間に決まった場所でしっかりと取り組むことです。

「しぬなよ」の「よ」。「よい思い出をつくってください」よい思い出をつくるためには、自らが楽しんだり、真剣に取り組んだりすることが必要です。普段の学校生活ではできないことにチャレンジしてみましょう。夏休みの終わりに、一番のよい思い出は〇〇ですと言えるように…。

二学期に一段と成長したみなさんの姿が見られることを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様へ

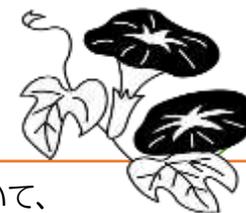
本年度の一学期が無事に終えられようとしています。これも、保護者・地域の皆様が日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただいたおかげです。

4月の学年保護者会には多くの方々の参加をいただきました。また、5月予定の体育大会が6月に順延したにもかかわらず、多くの保護者・地域の方に見ていただきました。さらに、7月から始まった大規模改修工事でご迷惑をおかけしながらも保護者懇談会に多くの保護者の方に来校していただきました。本当に本校を支えていただきありがとうございました。

大規模改修工事で校舎もだんだんと新しくなっていくように、今日の学校を取り巻く様々な課題も従来にはない新しいものになっています。ICT導入、校則の見直し、PTA参加、自然や疾病・人為的な危機などです。

私は、学校運営を進めていくうえで、「不易流行」は大切であると考えています。「不易」は、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの、「流行」とは世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。ただ両者の根本は一つです。「不易」があつての「流行」であり、「流行」があつての「不易」です。

来学期以降も、「不易流行」のもと学校運営を進めてまいりますので、よろしくお願ひします。
コロナ禍であり、ご自愛ください。



先月の「学校だより」でお知らせしました評価について、裏面に「各教科の観点と評価方法一覧」を載せています。通知表の評定と合わせて見ながら、来学期への具体的な目標を持てるようになりましょう。